



東京16区

衆議院議員・弁護士

柴田かつゆき

しばかつ通信 第018号(2025.11.17)



立憲民主党 副幹事長

臨時国会の焦点

- 献金に左右されない、国民生活を大切にした政治へ -

▶▶▶ 詳細は裏面へ



国政での活動

昨年から継続している法務委員会・憲法審査会に加えて、この臨時国会からは厚生労働委員会にも所属しております。昨年の選挙で「社会保障立国」と「働く人の手取りを増やす」を掲げた私にとって厚生労働は最も希望していた委員会ですので、しっかりと取り組んで参ります。また立憲民主党の副幹事長として党の運営にも関わっております。

区議会議員をめざしませんか？

立憲民主党 東京都連では、2027年5月までに東京都内で実施される区市町村議会選挙・補欠選挙(2027年4月の江戸川区議会選挙も含みます)にチャレンジしたい方を大募集しています！ 詳細は右のQRコードよりご覧ください。応募にあたってご質問などありましたら、柴田かつゆき事務所までご連絡ください！



地元での活動

駅前での「しばかつ通信」をお配りしながらのご挨拶に始まり、区内の色々なお祭りやイベント(特に地域運動会と区民まつり)に参加させていただきました。地域運動会では皆様へのご挨拶に加えて競技(借り物競走など)にも出場させていただき、楽しい時間を過ごすことができました！

また、後援会のみなさまによる「しばかつを囲む会」があり、大きく揺れ動く政局の中での立憲民主党の在り方などに対し、率直なご意見を多数頂戴いたしました。ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。

改めて、立憲民主党と柴田かつゆきの政策を皆様に知っていただくため、

12月6日（土）18時よりタワーホール船堀にて国政報告会を開催いたします！！

ご参加いただける方は右のQRコードよりご登録をお願いいたします。→ → → → → → → →



「チームしばかつ」メンバー大募集

柴田かつゆきへの応援をぜひお待ちしております！！

★後援会への加入（会費無料・イベント招待あり）

★ボランティアへの登録

▶▶▶

後援会



ボランティア



公式SNS(X)



臨時国会が10月21日から12月17日までの予定で行われています。公明党が26年ぶりに自民党との連立を解消し、立憲民主党を含む野党連立による政権交代の可能性もありましたが、日本維新の会の閣外協力により自民党政権が維持され、高市早苗自民党総裁が日本初の女性総理大臣となりました。高市総理の所信表明演説・各党からの代表質問と予算委員会の質疑を終えた段階での、臨時国会の主な争点をご報告します。

【物価高対策】

立憲民主党などの野党が与党と厳しく交渉し、ガソリンの暫定税率は今年の12月31日、軽油の暫定税率は来年4月1日より廃止されることになりました(実際の小売価格は補助金によって廃止より早く下がります)。さらに立憲民主党は、①来年10月から1~2年間の「食料品消費税率ゼロ%」(その後は「給付付き税額控除」に移行)、②中低所得世帯(4人家族の場合年収700万円以下)に1人当たり3万円、所得制限なしで子ども1人当たり2万円の「物価高・食卓緊急支援金」、③保育・医療・介護・障がい福祉従事者の待遇改善と経営困難な医療・介護・福祉施設への支援などの緊急経済対策を発表し、補正予算への反映や法案成立を求めていきます。

【企業・団体献金と議員定数削減】

自民党に献金する企業・業界の利益を国民全体の利益よりも優先させる「利権政治」を終わらせるため、立憲民主党は企業団体献金の禁止法案を、今年の通常国会において野党5党で共同提出しています。日本維新の会もこの共同提出に加わっていましたが、自民党は禁止に反対しており(2023年の企業団体献金総額83.6億円のうち96.4%の80.6億円が自民党宛とされており、この巨額の献金が自民党政権を支えています)、自民・維新の連立合意書では高市総裁の任期中(2027年9月まで)に結論を出すという表現に後退しました。

その一方で維新が連立の絶対条件として出してきたのが「議員定数の削減」です。維新は衆議院の定数(現在は小選挙区289名・比例代表176名)のうち比例代表の50名削減を主張し、この臨時国会で法案提出しなければ連立を離脱するとの強硬な姿勢です。しかし、衆議院では全会派による「選挙制度に関する協議会」が今年初めから定数を含めて議論していて来年には結論を出す予定であり、この臨時国会での法案提出が必要な理由は不明です。また現行の定数は、多数意見を代表させる小選挙区と、少数意見も反映させる比例代表のバランスを考えて決められたもので、比例代表のみ削減すれば少数意見の国政への反映が今まで以上に難しくなります。

【防衛費倍増の前倒し・台湾有事発言】

2022年度までGDP比1%前後であった防衛費を2027年度にGDP比2%とする「防衛費倍増」方針について、高市首相はこの臨時国会での補正予算により2年前倒しした2025年度に「防衛費倍増」を実現させると表明しましたが、そのための増税など国民に大きな負担を強いるものであり、本当に必要であるのか厳しくただしていく必要があります。さらに高市首相は、いわゆる台湾有事での日本による集団的自衛権行使について「(中国による)武力の行使も伴うものであれば、これはどう考へても存立危機事態になり得る」と発言し、中国政府から強い抗議を受ける事態になっていますが、立憲民主党は日中両政府にクールダウンして冷静に対応するよう求めていきます。

私ども立憲民主党は野党の立場から、政治献金に左右されない、皆様の生活を大切にした政治が実現するよう尽力して参りますので、皆様のご注目と応援をお願いいたします。

柴田かつゆき プロフィール

1968年10月生まれ。開成中高・東大法学部卒。「困っている人を、助けたい。」との想いから弁護士となり、今年で30年を迎えた。司法研修所刑事弁護教官、第二東京弁護士会副会長などを務めた。刑事事件の弁護人などの経験から、国の制度を作る国会議員を志し、2024年10月の衆議院選挙で初当選。2025年9月より立憲民主党副幹事長。政治信条は「社会保障立国」「利権より人権」「トリクルアップ経済(「下から」の経済成長)」

編集後記～スタッフKのひとりごと

先日、私が10年前に江戸川区の学習塾で教えていた頃の生徒が議員会館を訪ねて来てくれました。長らく連絡をとっていないかったので、近況をまったく知らなかつたのですが、「実は先月母になりました!」とのびっくり情報が。ご家族勢揃いで来てくれたのですが、おそらく共に来た小さなお客様は、議員会館訪問デビュー最年少だったのではないかでしょうか?“しばかつ×赤ちゃん”という場面もなかなかく、ほっこりとした時間となり、この子の未来のためにも「しばかつ頼んだぞ!」という気持ちになりました。(私も頑張ります!)

〒134-0091

柴田かつゆき事務所

東京都江戸川区船堀1-4-10 第2乙女屋マンション 604

TEL 050-8886-1651 / MAIL office.kshibata@gmail.com